

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年4月18日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	ドイツ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ジーゲン大学 現地言語: Universität Siegen
留学期間	2021年9月～2022年3月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経済 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年4月1日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月上旬～3月 2学期:4月上旬～3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1972

留学費用項目	現地通貨 (€ ユーロ)	円	備考
授業料	280,90	36517 円	生徒証代。NRW 州内の公共交通機関が無料になります。
宿舍費	1590	206700 円	2021 年は月 225€、2022 年から月 230€
食費	125×7	113750 円	
図書費	5	650 円	学期中のロッカー代
学用品費		円	
携帯・インターネット費	5×6+10	520 円	o2 の SIM 月 3.5GB 初月費のみ 10€
現地交通費	0	円	大学までバスまたは徒歩(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	111×7	101010 円	形態: 保険会社 BARMER
渡航旅費	260×12	93600 円	1 地域 260 ユーロで計算
ビザ申請費	100	13000 円	
雑費	15×7	13650 円	
その他		円	
その他		円	
合計	4456.9	579397 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田空港 目的地:フランクフルト空港 経由地: 復路 出発地:フランクフルト空港 目的地:羽田空港 経由地:ヘルシンキ空港
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:170,820 円 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:HIS) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Glückaufstraße) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
留学先大学からの情報提供
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
4人それぞれに個々の部屋があり、個人部屋は 1 人で過ごすのに十分な広さでした。ベットシートやブランケット等はないため、日本から持っていか、留学団体 esn が提供している 2nd hand shop を利用すれば問題ないと思います。esn Siegen でインスタグラム等で調べればすぐ見つかると思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:Praxis Dres. Winkemann、日本でいうクリニックのようなもの)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
主にたびレジなど
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
外で使えるインターネットは場所により強弱が大きく異なるため少し不便。寮の通信量は無料だが wifi 機器は各自で用意する必要があります。これも上記で述べた second hand shop で安く購入できます。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地に普通口座を開設し、月に閉鎖口座から送金された。閉鎖口座はビザを発行する際の資金証明のために解説する必要があり、自分は expatrio というサービスを使いました。現地での普通口座の開設は留学先大学が手伝ってくれます。
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。
基本的に現地で調達が可能です。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位	<input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ ありませんが、所属学部外の授業をとると手続きが少し増えます。		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Intensivkurs Deutsch 1 - Zielstufe A1.1	ドイツ語集中講義 - A1.1	
科目設置学部・研究科	sprachenzentrum	
履修期間	9 月	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	zoom でリアルタイム(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 195 分が 5 回	
担当教授	Christine Islamov	
授業内容	A1.1 レベルのドイツ語講義	
試験・課題など	コミュニケーションの講義を週に 1 回。中間試験と期末試験あり。課題も少々	
感想を自由記入	ドイツで生活する上で役に立つ講義になったと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):	
Monetary Policy	金融政策	
科目設置学部・研究科		
履修期間	10 月~2 月	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面講義、年明け後はコロナの影響で zoom リアルタイム(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授	PD Dr. Jürgen Ehlgen	
授業内容	ドイツと EU における金融政策	
試験・課題など	約 20 分の口頭試問	
感想を自由記入	留学生に理解のある教授で良かったです。授業内容はやはり難しかった印象です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Language Course			
科目設置学部・研究科	sprachenzentrum		
履修期間	10月～2月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	zoomリアルタイム(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に210分が1回		
担当教授	Michaela Krex		
授業内容	A1.2レベルのドイツ語		
試験・課題など	2週間に1回程度の課題。中間試験2回と期末試験あり。		
感想を自由記入	講義自体は難しくはないが、長いため集中がきれぎみでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
World Society, World Culture, World Politics		世界の社会、世界の文化、世界の政治	
科目設置学部・研究科	Faculty I		
履修期間	10月～2月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面、講義かつディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Univ. -Prof. Dr. Christian Lahusen		
授業内容	主にグローバル化における様々な視点での捉え方をディスカッションする。		
試験・課題など	毎週約20ページの論文を読む。2000語程度のレポート2回		
感想を自由記入	オープンなディスカッションだったので毎週課される論文を読まないでディスカッションするのが大変になると思います。ハードでしたが色々な国からきた人の意見がきけて面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
European and International Economic Law		ヨーロッパと国際の経済法	
科目設置学部・研究科	Faculty III		
履修期間	10月～2月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	Univ.-Prof. Dr. Jörn Griebel		
授業内容	EU内における経済法とWTOの経済法、その2つの比較		
試験・課題など	20分程度の口頭試問		
感想を自由記入	先生がとても優しい上、丁寧な授業の進め方をしてくれます。今回の留学で一番オススメの講義です。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	語学試験
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願、選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	一回目ワクチン。留学先大学出願
	8月～9月	二回目ワクチン。航空券購入。滞在先の確保。出国。普通銀行口座開設。保険
	10月～12月	住民登録。ビザ申請。クリスマスブレイク
留学/帰国年	1月～3月	三回目ワクチン。住民登録ビザ申請、取得。留学中の期末試験。帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

まず、感想として今回の留学を自分はこの上ないほど楽しめました。留学という体験がたった半年間だけでは足りないと感じるほどでした。もちろん生活や手続き等は母語ではなかったし、考え方も日本とは多少違う面もあるため、苦勞することもあります。しかし、それ以上にこんな体験できたことは幸運だと思っています。

そもそも留学をしたいと思っていたのは高校生の時からでした。海外で生活するときどのような苦勞があるのかを実際に体験したいという思いから始まり、多少目的が変化しながらもそのモチベーションを維持しました。留学先を選んだ基準として、英語が母語じゃないかつ、他国にも行きやすいヨーロッパ、そして比較的物価が安く、興味のわく国としてドイツを選びました。

次に留学生活全般についてですが、多少ドイツ語ができたほうができないより断然楽です。1 からドイツ語の文法などを勉強するより、日常生活で使えるフレーズを覚えるほうが生活する上で効率がいいのではないかと思います。ドイツ語の文法等は授業で教えてくれるため後回しにしてもあまり問題ないと思います。

準備等で困った場合は留学先大学の職員方は頼りになると思います。彼ら、彼女らは送った質問に対して丁寧な回答をくれます。さらに過去に留学を経験した先輩方の連絡先も国際教育事務室に相談するともらえる可能性もあるため自分は活用させてもらい、情報を得たりしました。

トラブルが起こるのは当たり前だと思って行動したほうが気持ち的に多少楽になるのではないかと思います。